

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展

# 「知らない」を観に行こう vol. 18

～観て、感じて、考えて～



【遠足】木下 今朝義 1996年

◆会期：2025年2月11日(火)～16日(日) 9:00～17:00

◆会場：直方市中央公民館 第4学習室 (〒822-0026直方市津田町7-20 ☎0949-25-2326)

◆観覧料：無料

◆主催：直鞍地区<sup>ヒューマン ライツ フォーラム</sup>Human Rights Forum

◆共催：福岡県退職教職員協会直方・鞍手支会 直方ハンセン病問題から学ぶ会  
福岡県教職員組合直方・鞍手支部

◆後援：直方市,宮若市,鞍手町,小竹町,直方市教育委員会,宮若市教育委員会  
鞍手町教育委員会,小竹町教育委員会,直方市PTA連合会

◆協力：一般社団法人金陽会,国立療養所菊池恵楓園,  
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会絵画クラブ金陽会

◆企画：藏座江美(キュレーター)



## 「知らない」を観に行こう vol.18 ～観て、感じて、考えて～

このたびご縁があり、国立ハンセン病療養所菊池恵楓園絵画クラブ「金陽会」の作品展を直方市で開催する運びとなりました。

ハンセン病は、聖書にも記されている古くからある病気です。感染すると末梢神経が麻痺し、皮膚にさまざまな病的な変化が起こることもあります。日本では、この病に対して法律（1907年から1996年）をつくり「隔離」という形で家族から引き離し、苛烈な境遇に追い込んでしまいました。それは、国だけではなく市井の国民もその一端を担っていました。

そして、差別・偏見は罹患された方々だけでなく、その家族にまで向けられ、未だに解消されていません。

しかし、ハンセン病問題についての関心をお持ちの方は、決して多いとは言えません。

私たちは、今回の絵画展が、この問題に対する学びの一助になればと考え企画しました。まずは「知らない」を観ていただき、「感じ」「考えて」いただければ幸いです。



【トロンボーン】吉山安彦 1997年

### 絵画クラブ「金陽会」

絵画クラブ「金陽会」は、ひとりの看護師の呼びかけにより1953（昭和28）年に発足した絵画クラブです。

特定の師を持たず、独学で描かれた作品の数は900点以上にもおよび、国内の療養所はもとより、世界的に見ても貴重な作品群と言えます。作品は、県内外で絵画展が開催され好評を博しています。

また、2023年4月からは、西日本新聞紙上でも作品紹介が連載されています。

2024年度、第83回西日本文化賞を受賞。

### 藏座江美さんによる ギャラリートーク 2月11日(火)

①10時30分～ ②13時30分～

### 会場案内

**車**・・・八幡 IC から約 6km, 12分  
鞍手 IC から約 6.6km, 14分

**電車** JR直方駅,平成筑豊直方駅から約800m,徒歩12分  
筑豊電鉄筑豊直方駅から約1km

**バス** JR九州・西鉄バス津田町バス停から約300m,徒歩5分  
西鉄バス日之出橋バス停から約500m,徒歩8分

**駐車場** 公民館横に約30台,または遠賀川河川敷駐車場



問合せ 絵画展事務局 芦谷(090-7447-1583), 亀谷(090-8624-8877)